

# 非鉄金属

## 大型鍛造プレス機導入

### 工業合金三芳

# 安全性・生産性が大幅向上

銅合金の押出・鋳鍛造品メーカーの三芳合金工業（本社・埼玉県三芳町、社長・萩野源次郎氏）は2020年5月末をめぐりに大型鍛造プレス機を導入する。現在はエアハンマーなどを用いて加工しているが、鍛造プレス機導入で作業の安全性や生産性を高める。来年5月末に設置工事を完了させ7月から本稼働させる。投資金額は数億円。



導入するのは三菱長クワン型1500ト油圧式2柱式プレス機。複数台あり、現在は導入に向けた基礎工事を行っている。

現在は導入に向けた基礎工事を行っている。

導入するのは三菱長クワン型1500ト油圧式2柱式プレス機。複数台あり、現在は導入に向けた基礎工事を行っている。

作業時の安全性は油圧で徐々にプレスする方式により加工物の飛散がないことなどから向上。生産性は複雑な形状の製品を短時間で加工できるため大幅にアップする。

またデジタル制御で

熟練度による品質のばらつきが抑えられ作業者を即戦力化できることや、これまで以上に

大型の鍛造品を手掛けられることも利点。さらに加工時の音が小さく近隣の環境を保てるほか、稼働時間を延ばすことも可能になる。

鍛造プレスの導入を機に今後拡大が見込まれる需要を取り込む方針で、現在の外注先との関係は引き続き維持する。現在は基礎工事を行っている段階。